

## 2. 江蘇省

### 江蘇省の経済動向

2023年の江蘇省の域内総生産（GRP）は前年比5.8%増の12兆8,222億2,000万元（全国のGDPの10.2%を占める）となった。成長率は全国（5.2%）を0.6ポイント上回った。第二次産業は6.7%増の5兆6,909億7,000万元でGRP全体に占める割合は44.4%、第三次産業は5.1%増の6兆6,236億7,000万元でGRP全体に占める割合は51.6%となり、全体に占める割合が最も大きかった。固定資産投資の伸び率は5.2%、社会消費品小売総額は6.5%増と成長が大きかった。貿易総額は3.2%減の5兆2,000億元だった。江蘇省の対内直接投資は実行ベースで全国1位、実行額は253億4,000万ドルとなり、華東地域（上海市、江蘇省、浙江省）全体の36.4%を占め、前年より5ポイント下回った（表1）。

表1：江蘇省の経済動向（2023年）

項目	金額	伸び率 (%)
GRP (域内総生産) (億元)	128,222	5.8
第1次産業 (億元)	5,076	3.5
第2次産業 (億元)	56,910	6.7
第3次産業 (億元)	66,237	5.1
工業生産付加価値額 (一定規模以上、億元)	-	7.6
固定資産投資額 (億元)	-	5.2
インフラ投資額 (億元)	-	7.0
民間投資額 (億元)	-	2.1
不動産開発投資額 (億元)	-	△4.2
社会消費品小売総額 (億元)	45,548	6.5
貿易総額 (億元)	52,000	△3.2
輸入額 (億元)	18,775	△4.3
輸出額 (億元)	33,719	△2.5
対内直接投資		
契約ベース (億ドル)	112	15.5
実行ベース (億ドル)	253	-
消費者物価指数 (CPI)	-	0.4
都市住民1人あたり可処分所得 (元)	63,211	5.0

出所：江蘇省統計局の発表をもとにジェトロ作成

### <地方政府との交流の状況>

#### ① 垂大使・曹書記会見

- 開催日時：2023年2月26日
- 中国側参加者：曹書記、蘇州市人民政府
- 日本側参加者：垂大使、赤松総領事、大使、中国日本商会、蘇州日商倶楽部
- 交流内容：日系企業事業環境向上に関する提案。

#### ② 江蘇省外事弁公室主催外国人の生活向上に関する座談会

- 開催日時：2023年3月7日
- 中国側参加者：江蘇省外事弁公室

- 外国人参加者：外国人組織、外資企業代表、教職員、留学生
- 交流内容：外国人の生活・ビジネス上の便利度向上を目的とした調査研究。

#### ③ 蘇州市商務局主催日系企業座談会

- 開催日時：2023年3月16日
- 中国側参加者：唐副市长他当局各部門責任者
- 日本側参加者：蘇州日商倶楽部、日系企業代表者
- 交流内容：2月26日に行われた垂元大使、曹書記会見において認識共有した目標達成および日系企業へのサービス向上を目的とした意見交流。蘇州日商倶楽部より、電力の安定供給、長江・太湖環境規制にかかわる増資認可、各種交流会実施、渡航規制撤廃について要望を提出。

#### ④ 蘇州高新区管理委員会主催日系企業懇親会・ビールフェスティバル

- 開催日時：2023年8月11日
- 中国側参加者：蘇州高新区管理委員会
- 日本側参加者：蘇州日商倶楽部、高新区所在日系企業代表者
- 交流内容：高新区上半期の振り返り、高新区政府と企業高官の懇親と交流。

#### ⑤ 蘇州市人民政府主催中華人民共和国成立74周年招待会

- 開催日時：2023年9月30日
- 中国側参加者：蘇州市人民政府
- 外国人参加者：外国商会代表者、外資企業代表者
- 交流内容：国慶節を外資系企業と祝う主旨。政府の方針説明、荣誉市民授与式等。

#### ⑥ 赤松大使・劉書記会見

- 開催日時：2023年11月29日
- 中国側参加者：劉書記、蘇州市人民政府
- 日本側参加者：赤松大使、蘇州日商倶楽部
- 交流内容：劉書記着任祝い、日系企業・日本人学校支援の要請、懇親。

#### ⑦ 蘇州市外事弁公室主催2024蘇州-日本青少年友好交流プロジェクト発足式

- 開催日時：2023年12月28日
- 中国側参加者：蘇州市外事弁公室
- 日本側参加者：蘇州日商倶楽部、蘇州日本人学校
- 交流内容：友好都市をオンラインでつなぎ、青少年を対象としたプロジェクトの発足式。蘇州日本人学校への図書贈呈等。

#### ⑧ 蘇州市人民政府主催寒山寺除夜の鐘イベント

- 開催日時：2023年12月31日
- 中国側参加者：劉書記、吳市長、蘇州市人民政府

- ・日本側参加者：赤松大使、池田市代表団、蘇州日商倶楽部
- ・交流内容：45回目を迎える池田市と蘇州市との日中友好イベント。日中会見、懇親。

### ⑨蘇州高新区管理委員会主催寒山寺除夜の鐘イベント

- ・開催日時 2023年12月31日
- ・中国側参加者：蘇州高新区管理委員会
- ・日本側参加者：蘇州日商倶楽部、高新区所在企業
- ・交流内容：下半期の振返り、高新区企業表彰、高新区政府と企業高官の懇親と交流。

耗率（収率）が異なっており、例を挙げると、深圳では、損耗率2%まで認められている。

関税ルールの運用には地域差があるため、運用の統一を要望する。

## <建議>

### 1. 移転要請について

#### ① 移転要求時の事前相談と十分な期限設定

再開発政策に基づき、工場が移転要請を受けているケースがあるが、移転を要求する際には、企業側に早期に事前相談をしていただきたく、また、強引な進め方ではなく、十分に余裕のある移転期限を設定していただくよう要望する。

#### ② 実態に則した増資要求への見直し

移転時の増資要求について、新規進出時と同じ基準で設定せず、実態に則した要求とするよう見直していただくよう要望する。

#### ③ 柔軟な移転補償金計算方式の検討

固定資産の計算方式を一律にあてはめず、業種や、所有している移転不可設備の割合を考慮した移転補償金を検討していただくよう要望する。

### 2. 化学系企業への環境要求について

#### ④ 化学系製造業が事業規模を拡大する際の合理的な許認可判断

近年の中国政府の環境保護方針は十分に理解する。一方で、特に蘇州地域では、化学系製造業が事業規模を拡大する際に、排ガスや排水の総量増加の許可を得ることが非常に厳しく、事業拡大の障害となっている。

企業側では環境改善の取り組みとして高効率処理装置の導入等を行い環境負荷低減に努力し、排ガスや排水の汚染濃度の低減を積極的に実施している。より合理的な許認可判断を要望する。

### 3. 関税ルール運用について

#### ⑤ 関税ルール運用の統一

化学系企業が保税原料を輸入・加工する場合、手冊に登録し厳格に管理して生産に使用しているが、保税原料を生産投入した場合の損耗率（収率）について、蘇州地区では0%の運用ルールがある。しかしながら、地域によっては損